

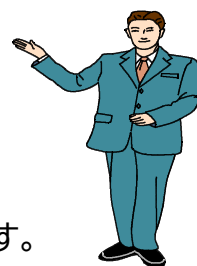
学校運営協議会だより

文責 CS事務局

小学校・中学校の令和7年度がスタートしました。学校運営協議会だより第3号は、本年度小・中学校が目指す教育について、それぞれの学校長からお聞きしましたインタビュー内容をまとめてお伝えしたいと思います。



CSコーディネーターより令和7年度の学校経営について3点お聞きします。まず、小学校島校長よろしくお願いします。



CS コーディネーター

Q1 小学校の子ども達には、どのような姿に成長してほしいと思われるか？

京極町の目指す子ども像「ふるさと京極の未来を思い、語れる子」を受け、本校は、下の囲み枠に示す3点を目指す子ども像としています。

目指す子どもの像

- ①自分で考え、表現し合って高め合う子
- ②お互いに認め合って協力できる子
- ③自分の体に興味を持ち、高めようと取り組む子

Q2 そのためには、具体的にどんな力を育てることが必要ですか？

	「育てたい資質・能力」の重点
知識 技能	○文章をスムーズに読むことができる。〈読む〉 ○わかったことをまとめて書くことができる。〈書く〉 ○ICT機器の使い方がわかり、正しく使うことができる。
思考力 判断力 表現力	○順序よく説明することができる。〈説明する〉 ○自分の考えを持ち、友達と交流しながら学習することができる。〈学び合う〉 ○ICT機器を状況に合わせ適切に使うことができる。
学びに向 かう力 人間性 その 他 の 習慣	○「得意」「不得意」等、お互いに異なることを理解し合って協力することができる。〈苦手を理解し合い、できることを増やす〉 ○発達段階に応じた家庭学習ができる。〈家庭学習〉 ○落ち着いたあいさつができる。〈あいさつ〉 ○自分の健康や体力を知り、改善や向上に取り組もうとすることができる。〈体力向上に挑戦〉

Q3 それらの力を育てるために、どんなことに取り組まれますか？

このような取り組みを進めたいと思います。下の図にまとめました。

知

- 資質・能力を育てる授業づくり
- TT・習熟度別指導
- 放課後・長期休業中の個別指導
- ICTの有効活用
- 宿題・じぶん学習の継続
- 毎日「鍛え」の積み上げ
- キャリア・ノートの活用

徳

- 教師の積極的な認め・褒め
- 「考え話合う」道徳
- 道徳科の参観日公開と研究授業
- 児童会主催の「ありがとう運動」「あいさつ」運動
- QU等、実態調査と教育相談

体

- 体育での重点項目継続強化
- なわとび記録会
- ジュニアマラソン大会
- 体力測定広場
- 2度の体力テスト

校長の石川周亨です。
よろしく
お願いいたします。

続いて、中学校石川周亨校長にお聞きします。先生よろしくお願いします。

1 中学校の子ども達には、どのような姿に長してほしいと思われますか？

京極中学校の学校教育目標は、「知恵をつないで創造する生徒の育成」です。「どう学ぶか」を今年度のスローガンに下記を目指す生徒像として取組を進めたいと思います。

**「やってみたい」「なりたい」
に向かって自律的・協働的に
学ぶ生徒**

Q2 そのためには、具体的にどんな力を育てることが必要ですか？

小学校段階では、3つの力を育むため、小学校Q3に示した取り組みを進めます。中学校においても、次の3つの力を育みます。

育成する資質・能力

- 知識や技能を活用することができる力
- 相手を意識して、伝えたり聞いたりすることができる力
- 自他の良さを尊重しながら協働し、見通しを持って取り組む態度

Q3 それらの力を育てるために、どんなことに取り組まれますか？

下記のように取り組みます。

自ら課題を選択して取り組む学力・体力の向上

- 学んだことを、次の学習や実生活に繋げる力を高める授業改善
- デジタル教材のより効果的活用の推進
- 諸テストや検査の指導改善への活用
- 望ましい学習習慣・生活習慣づくり
- 生徒主題の体力向上

自他の尊重と自己有用感の高揚

- 人権意識・相手意識を高める学級活動・生徒会活動・部活動
- 3年間で段階的に育成する資質能力を踏まえた縦割り活動
- 話し合い STANDARD に基づくよりよい合意形成
- 考え、議論する道徳の授業を要とした道徳教育の推進